



夢・挑戦・感動を大切にする教育

霞西中だより

第 16 号

令和3年3月1日 発行

校長 堤 貴幸

〈学校教育目標〉

心身ともに健康で
自ら行動する生徒の育成

〈目指す生徒像〉

- 夢を持ち、自ら学ぶ生徒(自主)
- 心豊かで、思いやりのある生徒(敬愛)
- 心身ともに健康な生徒(錬磨)

学年末を迎えて ～有終の美を飾ろう～

今日から3月、今年度も残りわずかとなってまいりました。月日が経つのは本当に早いものです。特に今年度は、新型コロナウイルスの影響により学校が始まったのが通常の4月から遅れること2ヶ月の6月からになってしまい、その影響で一日一日が密度の濃い日々でしたので、なおさらそう感じるのかも知れません。

3年生は在籍生徒98名中、すでに進路が確定した31名以外の生徒達が、先週の金曜日に県公立高校の入学選抜の学力検査を受検しました。新型コロナウイルスの感染により受検できなかった生徒が一人も出なかったことは何よりでした。あとは結果を待つばかりです。8日の合格発表日には、受検した全員の合格通知が学校に届くことをただただ願うばかりです。

残された授業日数は、1・2年生はあと19日、3年生はあと10日後が卒業式です。残されたこの期間で一年間のまとめと進級するための準備をしなければなりません。

この時期になりますと様々なところで「有終の美を飾る」という言葉を耳にします。「有終の美」とは、中国最古の詩集といわれる「詩経」の中に書かれている「靡不有初 鮮克有終」が元になっています。これを書き下し文にすると「初め有らざる靡(な)し 克(よ)く終わり有る鮮(すくな)し」となります。現代語訳は「およそ初めは良いが、最後まで全うする者は少ない」、つまり「初めはやる気があるやうに思っているが、実際に立派にやり遂げるのは難しい」という意味になります。このことから「有終の美を飾る」とは、「最後を立派に飾る・素晴らしい結果になる」ということです。

生徒の皆さんには、来年度に向けてしっかりと有終の美を飾って欲しいと願っています。それでは、中学生にとっての「有終の美」とはいったいどんなことでしょうか。まずは当然、「学習の締めくくりをする」ということです。定期テストは全て終了していますが、それぞれの学年で学習した内容を確認して、分からないところをできる限り少なくするという事です。なぜなら、来年度の授業は、今年度の学習内容が理解できているという前提で進められていくからです。わからない内容を次の学年に持ち越してしまうと、ますますわからない内容が増えてしまい苦勞をする結果になってしまいます。特に3年生は4月から高等教育を受けることになり、学習内容は確実に高度になります。進学先の学校で充実した生活を送るためには、中学校の学習内容をしっかりと復習することが必要です。卒業式後、4月までの期間が復習のチャンスです。

学習以外のことで、各自が設定した目標が達成できるように残された1ヶ月間努力をしてください。すでに、1年前の自分と比較して成長したこと、できるようになったことがある人は、有終の美を飾ったことになります。

全校生徒全員が有終の美を飾り、良い形で進級できることを願っています。



小・中連携で子供の力を伸ばします

子供の学力、体力、道徳心、基本的生活習慣等を確実に定着・向上させるためには、義務教育9年間のスパンで計画的・継続的に教育を進めていくことが重要となります。

2月8日に小・中連絡協議会を開催をし、本校の教員が霞西小と霞南小に出向き授業参観をした後に、小・中連携の在り方について協議を行いました。その中で、小・中連携の取組として、いくつかの事を確認しました。学力向上面では、授業を大切にさせるために「授業の受け方8ヶ条」(右資料)を毎時間の授業で指導をすることとしました。

生活面では、「あいさつ」と「清掃活動」にしっかりと取り組める児童生徒を育成することとしました。この2つのことは、社会人になった時にも真っ先に求められることです。義務教育の段階で確実に身に付けておくべきこととして指導をしております。

「あいさつ」につきましては、家庭の「しつけ」として保護者の方々からもあいさつの大切さについてお話いただき、奨励をお願いいたします。

授業の受け方 8ヶ条

みんなで8ろう！

1 あいさつをしっかりとしよう！

姿勢を正し、大きな声で、気持ちを込めて



2 発表のしかたを徹底しよう！

声の大きさはみんなに聞こえるように、手を挙げて発言

3 指名されたら必ず返事をしよう！

名前を呼ばれたら必ず「はい」と返事

4机の上を整理しよう！

授業に必要なものだけを出し、必要のないものはしまう

5 ノートを見やすく書こう！

黒板を写すだけでなく、自分にとって見やすいノートにする

6 授業準備をし、忘れ物をしないようにしよう！

休み時間に準備をし、忘れた場合は授業前に先生に報告する

7 姿勢を正して話を聴こう！

話は目で聴く



8 協力して学ぼう！

みんなで積極的に参加して、自分たちでよい授業にする

おめでとうございます

★埼玉県小・中学校児童生徒美術展

【埼玉県特選】3年 ○○○○ 1年 ○○○○

【入間地区入選】3年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
2年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○
1年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

★川越市優秀選手賞【ダンスの部】1年 ○○○○ ALL JAPAN SUPER KIDS DANCE CONTEST 2020 東北予選 第1位

★川越地区書きぞめ展覧会

【推薦賞】→ 県展出品 3年 ○○○○ 2年 ○○○○ 1年 ○○○○

【特選賞】3年 ○○○○、○○○○ 2年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

1年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

【優良賞】3年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○、○○○○ 2年 ○○○○、○○○○

1年 ○○○○、○○○○、○○○○、○○○○

★埼玉県書きぞめ中央審査会 【特選賞】3年 ○○○○ 2年 ○○○○ 1年 ○○○○

安全教育を進めています

子供達が充実した生活や学習に取り組めるようにするために安心・安全な環境を整えることが学校の責務です。そこで、本校は今年度と来年度の2年間、川越市教育委員会から委嘱を受けて、安全教育の研究を行っています。研究主題を「主体的に行動できる生徒の育成を目指す安全教育の推進 ～「生きる力」を育む防災教育の充実～」と設定して、生徒への指導法について研究を進めております。



2年生は、指導者として埼玉医科大学総合医療センターから救急科救急救命士2名、高度救命救急センター看護士2名に来ていただき「心肺蘇生」の講話と実技講習を行いました。講話で「意識を失い倒れた場合、助かる割合は1分経過するごとに10%ずつ減っていく。救急車が到着するのを待っていると（救急車が到着するまで平均8分かかる）、10人中2人しか助からない」「誰かが突然意識を失い倒れた場合、そばにいるあなたしかその命を救えない」「多少間違ってもいいから、勇気を出して対応することが大切」等の講話に生徒達は真剣に聞き入っていました。

3年生は、「防災小説」を執筆する学習を行いました。「防災小説」の学習は、本校が安全教育の研究を進めるにあたり指導者としてお世話になっている慶應義塾大学准教授であり地震学者でもいらっしゃる○○○○先生が考案した教材です。

大災害に遭遇した時、自分の身に何が起こるか。災害前後の状況を想像し、自分自身を主人公にした「防災小説」を書くことを通じて、災害を「自分事」として捉えさせるといいます。具体的には教員が災害の発生日時、その時の天気、災害規模を指定した上で、生徒一人一人が当日の自分の生活や心境、家族や町の状況などを想像して小説にまとめる活動です。

ところで、防災教育の一環として10月に初めて「引渡訓練」を実施しました。その際は、保護者の皆様にはご協力をありがとうございました。

来年度は、実際の災害を想定して、霞5校（本校、霞西小、霞南小、霞中、霞小）が同一日時で引渡訓練を実施する予定です。小・中にお子さんがいるご家庭は、両校での引取をお願いすることになります。詳細につきましては、来年度になりましたらお知らせいたします。

3月(March)行事予定

	行事	下校	部活
1月	県公立高校入試面接・実技検査	3:15	×
2火		4:15	×
3水	県公立高校入試追検査/三送会準備	5:30	×
4木	三送会/5時間授業	2:50	×
5金	PTA運営委員会	4:15	×
6土			×
7日			×
8月	県公立高校入学許可候補者発表	5:30	○
9火	学年朝会	5:30	○
10水		5:30	○
11木	卒業式予行/3年給食最終	5:30	○
12金	卒業式準備/県公立高校入試特例追検査	4:00	×
13土	第38回卒業式/1・2年生臨時休業	12:10	×
14日			
15月		3:15	×
16火	県公立高校入試特例追検査入学許可候補者発表	5:30	○
17水	生徒会専門委員会/県公立高校欠員補充開始	5:30	○
18木	生徒朝会/生徒会中央委員会	5:30	○
19金		5:30	○
20土	春分の日		
21日			
22月	1・2年生給食最終	3:15	×
23火	短縮3時間/部活動弁当持参	3:15	○
24水	短縮3時間/部活動弁当持参	3:15	○
25木	短縮3時間/部活動弁当持参	3:00	○
26金	修了式	10:40	×
27土	学年末休業日(～31日)		
28日			
29月			
30火			
31水			

学校掲示板

いい時間

二〇二二・三

いい時間を作ろう
人が動けるのは今、この瞬間だけ
過去も未来も頭の中にかからないので
それらは「今」に影響はしても
現実には存在しない
私たちは常に「今」しか生きられない
この貴重な「今」を生かすために
どう考えていったらいいのか
多くの学習や体験を通して
生き方の根っ子になるものを
時間をかけて探していく
それを積極的に行動に移しているとう
いい時間は生まれてくる

【元本校職員 ○○○○ 氏 筆】